

## 序文

2011年(平成23年)10月に京都で、日本睡眠学会第36回定期学術集会がWorldsleeper2011と連携して開催されました。日本睡眠学会は、その前身である日本睡眠研究会の歴史を含めると、約40年にもなります。そこで、睡眠科学、睡眠社会学、睡眠医学に多大なご尽力をされてこられた、日本の睡眠学の草分けである先生方をお招きして、ご研究の足跡をたどる「先達にきく Meet the Expert」のシンポジウムを開催いたしました。

日本の睡眠研究の黎明期からリードされてこられた先生方のお話は、当日、聴講された方々に大きな反響を呼びました。また、聴講の機会を逸した多くの方々からは、講演内容の紹介依頼が寄せられました。そこで、日本睡眠学会では、その功績や業績を称え、記念誌として一冊の本にまとめるという企画がまとまりました。当日ご発表いただき、抄録やスライドを提出して下さった先生方には、それらをもとに再度ご執筆を賜りました。体調がすぐれないなどご自身でのご執筆が難しい先生や故人の先生の業績は、ご家族や、薫陶を受けられたお弟子にあたる先生方にご執筆をお願いいたしました。

完成しました本書をひもときますと、わが国における睡眠学の歴史を知ることができるばかりか、先生方のご苦勞が伝わってきます。このような偉大な先輩方の思いや業績を、ぜひ若い研究者の方々に引き継いでいただきたいと思います。若い研究者の方々は本書を読むと研究や医療のすばらしさを実感していただけることでしょう。今後、睡眠学がさらなる発展を遂げ、日本と世界の人々の健康な生活に還元されていくことを望みます。

2013年2月

滋賀医科大学睡眠学講座特任教授  
前アジア睡眠学会理事長  
Worldsleeper2011 大会長  
大川 匡子